



共生モデルを 3大学が視察

大崎

鹿児島大学（鹿児島市）、
釧路大学（広島市）、慶応
大学（東京都）の関係者が
合同で8、9の両日、大崎

町を視察に訪れた。写真。
「支援する・される」を超
えた共生モデルを現地で学
び、研究・教育活動に生か
す狙い。地元の大崎ものづ
くりネットワーク振興会が
受け入れた。

8日は学生や教員6人が
社会福祉法人愛生会を訪
問。施設や敷地内を見学し、
竹炭で土壌改良した畑でサ
ツマイモを作り、干し芋に
して収益を上げる「竹福商
連携」や、障害者雇用につ
いて意見を交わした。

卒業プロジェクトのテー
マを探す釧路大3年、隼田
彩希さんは「地域コミュニ
ティの形成や農業に関心
がある。少ない集落の中で
人も物も循環していると感
じた」と話した。（福岡梓）